

東日本大震災並びに原子力災害に関する特別委員会

●要望活動

特別委員会では、12月18日、国及び東京電力㈱に対して要望を行いました。

1. 要望先

内閣総理大臣、民主党、東京電力㈱ほか

2. 国への主要要望項目

- 1 第2ステップの終了後、警戒区域の見直しを放射線量率に応じて実施すること
- 2 除染を国の責任において早急に実施すること
- 3 仮置き場の確保について国が支援すること
- 4 避難民の更なる雇用の拡大をすること
- 5 双葉地域を再生利用可能エネルギーの一大拠点とすること
- 6 3回目の一時帰宅を早急に実施すること
- 7 放射線医学の拠点を双葉地域にすること
- 8 家屋等の財産的損害に対しては、国が責任を持って対応すること

3. 東京電力(株)への主要要望項目

- 1 仮設住宅にいる避難民に謝罪すること
- 2 精神的損害に対し、6ヶ月以降も10万円支払うこと
- 3 財産的損害に対して、責任を持って対応すること

●その他の活動

要望活動のほか

- ・ 楡葉町全域のインフラの状況調査
- ・ 仮設住宅の建設と入居状況
- ・ 除染の取り組みについて
- ・ 緊急雇用対策の現状
- ・ 町民の健康管理
- ・ 一時帰宅の進捗状況

などを調査しました。

なお、福島第一原子力発電所事故の収束や町民の生活基盤の確立など多くの問題を抱えているため引き続き調査します。



樽床民主党幹事長代行へ要望書を手渡す

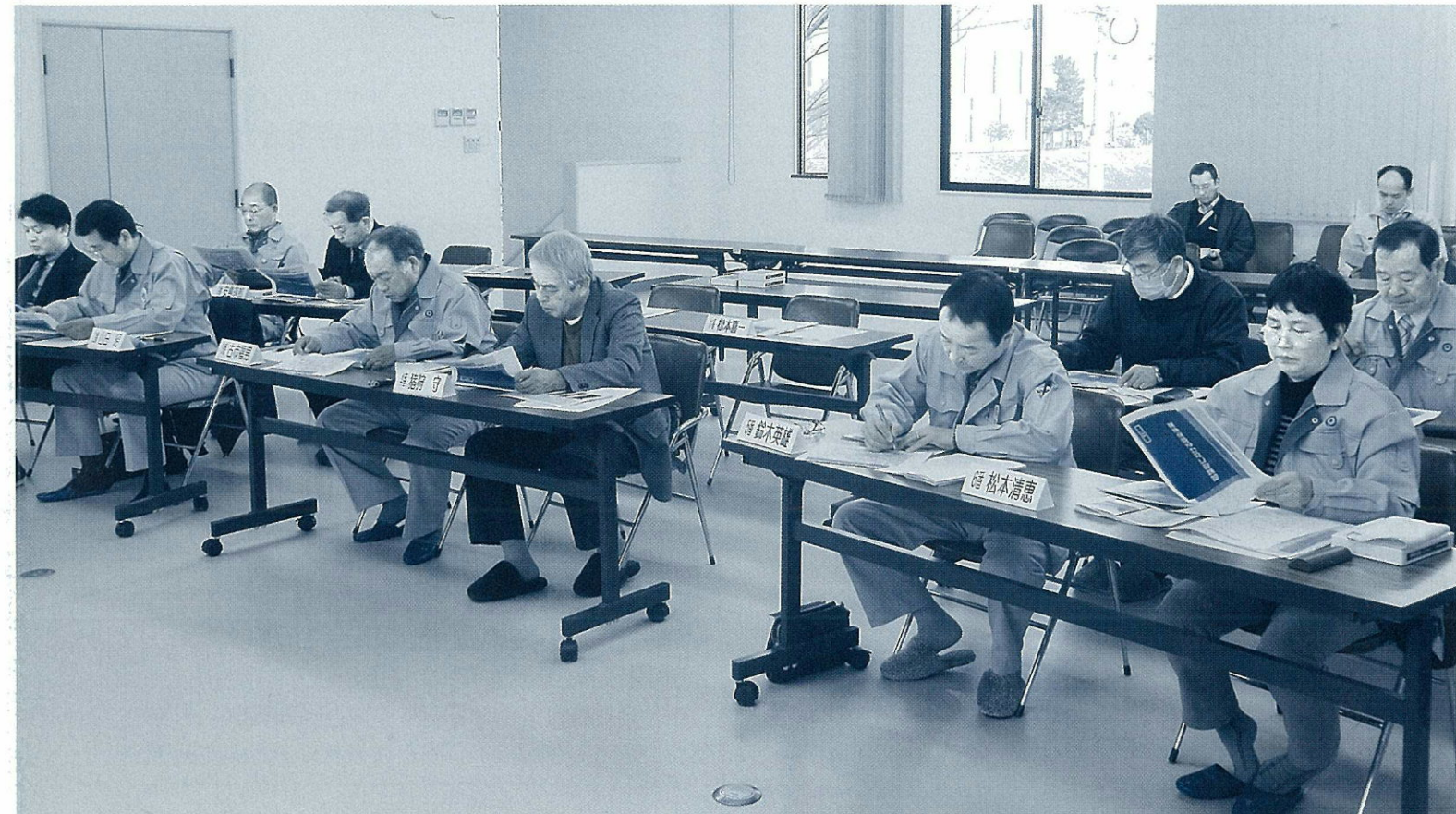
議会報



ならは

12月定例会

No.155



いわきで議会を開催

楡葉町災害対策本部の機能が1月17日、住民約5,000人避難しているいわき市（いわき出張所）へ移転致しました。

それに伴い、楡葉町議会でも、いわき市へ移転し、1月19日にいわき出張所谷川瀬分室（いわき市平谷川瀬1丁目1-1）において、いわき市で初めての議会（全員協議会）を開催しました。

今回の議会では、「除染や廃棄物処理について」を議題として、多くの議論をいたしました



が、今後、定例会や臨時会についても、谷川瀬分室で開催いたしますので、たくさんの方の傍聴をお待ちしております。

次の定例会は3月にいわきで開かれます — 皆さんの傍聴をお待ちしております —

○傍聴されるときは次のことを守ってください。

- * 議員の言論に対して批判しないこと。
- * 帽子、外とう類を着用しないこと。
- * 議事を妨げるような行為をしないこと。
- * 傘、杖、カメラ、録音機類を携帯しないこと。

所在地 〒970-8036

福島県いわき市平谷川瀬1丁目1-1

TEL. 0246-25-5561



12月定例会

平成23年第7回定例議会は、12月13日から14日までの2日間の会期で、会津美里町本郷支所の議場を借りて行いました。

条例制定など10件の議案、議員発議1件を審議しました。

提出された議案は、慎重に審議した結果、すべて原案のとおり可決しました。

制 定

☆選挙公報発行に関する条例

町の議会議員選挙及び長の選挙において、氏名や経歴、写真等を掲載した選挙公報を発行することができるものである。

☆特定住所移転者に係る申出に関する条例

原子力発電所の事故による災害に対処するため、特定住所移転者に係る申出等に関し必要な事項を定める必要があるためのものである。

承 認

☆備品購入の専決処分の承認

補正予算

☆平成23年度一般会計補正予算

予算総額に災害復旧のため、1億1千万円追加したものであり、原案のとおり可決。

主な内容は、北田上ノ原地内の宅地造成測量設計や、仮設校舎敷地造成・建設工事設計委託料である。

☆平成23年度国民健康保険特別会計補正予算 ほか3件

改 正

☆会津美里出張所設置条例の改正

会津美里出張所の位置を変更するためのものである。

☆公告式条例の特例に関する条例の改正

会津美里出張所の変更に伴い、公告の所在や名称を変更する必要があるためのものである。

一議員発議一

☆議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の改正

開かれた議会運営を目指す中で、議員報酬や期末手当の透明性をより一層向上するためのものである。

町政を問う！ いっぱん質問 8 議員登壇



まつもと きよ へい 議員
松本清恵

□帰町に向けた取り組みについて

問 町は3月にも警戒区域から解除される方針だが、町はどのように把握しているか。

答 国から話はなく、具体的な検討状況を報告できる状況ではない。

問 食品の放射性物質の検査体制を整えるべきと思料するが。

答 食品放射能測定器の購入、また帰町後は専門チームの設置等を考えている。



あ じ ま た く お
安島琢郎

□町民の被曝量を下げるには、家屋内の放射線量率を下げるのが最も重要である

問 屋内の放射線量率はいくらまで下げればよいか。

答 年間1mSvを目指し、除染を行いたい。

問 国から使用が制限され、劣化した損失の責任は国及び東電にあると思われるがどうか。

答 国及び東京電力の責任において賠償されるべきものであると考えている。



や ま だ あ き ら
山田昭 議員

□東日本大震災における東京電力賠償について

問 県内路線価の調整率は、原発第一周辺は、実質ゼロと発表されたが、賠償はどのように交渉しているか。

答 8町村が協力して、強く賠償を求めている。

□東京電力第二原発に対する町の考え方について

問 原発の廃炉について、どのように国・県に発言していくのか。

答 原子力に依存しない新たなまちづくりに取り組むことが肝要と考え、発言していく。



ゆ う き ま さ し げ
結城政重 議員

□仮設住宅の追加建設を

問 仮設住宅の追加建設をしながら、町民の希望を充足させるべきと思うが。

答 空いている仮設住宅の二次募集を行いながら、県へ追加建設を要望する考えである。

□町の情報や支援物資を公平に

問 民間の借り上げ住宅と仮設住宅の入居者では、対応が不公平であると思われるが。

答 不公平感を生じないよう、生活支援に努めていきたい。



す ず き ひ で お
鈴木英雄 議員

□県内外の借り上げ住宅に対する支援策は

問 支援策として、県外に避難する方々との懇談会や県人会等の設立はどうか。

答 懇談会の開催に努めたい。また、県人会等の設立も検討したい。

□Jヴィレッジの現状と今後の方向性は

問 Jヴィレッジが原発事故の最前線基地として使用されているが、第一原発の近隣に移設すべきと思うが。

答 国では、警戒区域の見直しにより、拠点の見直しを考えている



まつもと き い ち
松本喜一 議員

□来年度の高校入学について

問 来年度の双葉郡の高校のサテライト高は、どのようになるのか。

答 双葉、富岡、翔陽高校はいわき明星大学に集約、浪江高校は、本宮高校に仮設校舎、その他の高校は、引き続き継続である。

□檜葉町に寄せられた義援金について

問 町に寄せられた義援金を不正に使用することはできるのか。

答 不正に使用することは出来ない。



な が や ま ひ ろ お
永山広男 議員

□原子力災害に見舞われた我が地域の今後は

問 除染の計画は。

答 国が取り組んでいる除染モデル事業による除染評価結果に基づき、国と連携しながら取り組んでいきたい。

問 インフラ復旧の期間はどれくらいか。

答 年度内に詳細な調査を終了し、復旧を計画していきたい。



わ た な べ し ゅ う そ う
渡邊修三 議員

□復興に向けた町の考えは

問 小・中学校の学校再開は。

答 24年4月からの再開に向け準備している。

問 放射線の健康管理の取り組み状況は。

答 福島県では健康調査を実施し、内部被ばく検査は、妊婦・乳幼児から実施し、20代、30代、40代と実施していく。

